

国語・書写

教科	出版社	選 定 理 由
国語	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 物語文は、5作品新しくなっている。定番の物語文の中では、「わらぐつの中の神様」が無くなった。戦争を題材にした物語が3～5年生で1作品ずつ掲載されている。また、6年生の「カレーライス」が5年生の読み物教材になっている。さらに、4年生以上の説明文が合計七つ新しいものになっている。グローバル化、情報化など現在の社会の現状や問題をテーマに含んだ教材が多い。国語科では、新しい教材をどう授業するのかという点にも関心が高い。これらの教材での実践提案をすることで、附属学校としての役割が果たせる。</li> <li>○ 説明文の教材文を二つ連続して掲載し、一つ目の教材文で培った読み方を、二つ目の教材文で活用できるようになっている。国語科では、読みの力を系統立てて指導したり、確かなものにしたりしていく点に課題があり、そのような点に対応しているのがよい。</li> <li>○ 説明文と物語文の学習では、「とらえよう」…構造と内容の把握、「ふかめよう」…精査・解釈、「まとめよう」…考えの形成、「ひろげよう」…共有というように、新学習指導要領でより一層明確にされた学習過程に沿って課題例が示されている。これを参考にして授業を行うことで、言語活動をするだけでなく、各過程で指導することになっている指導事項が身に付く授業展開ができる。</li> <li>○ 新学習指導要領で新設の「情報の扱い方」について、巻頭に掲載するとともに、各教材の中で、どのような情報をどのように扱うのが学べるように明記されている。そのため、新しい指導事項ではあるが、授業者が意識的に指導することが可能になる。</li> </ul>
書写	光村図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国語で使用する教科書会社と同じものにするすることで、国語で学んだことを書写で生かしたり、書写で学んだことを国語で生かしたりすることが円滑にできる。</li> <li>○ 書くときのポイントが「たいせつ」にまとめられており、学習した知識・技能が振り返られるようになっている。活動するだけでなく、学んだことをメタ認知することで、確かな力になったり、次への見通しがもてたりするので、そのような内容が掲載されているのがよい。</li> <li>○ 重要度に応じて、文字の大きさが工夫されている。画数ごとの色分けも、必要最低限の色数で押さえる配慮がされている。また、子どもの指に合わせたなぞり書き用の文字が掲載されている。このような工夫は、子どもの実態を基に考案されたものであり、書くことに難しさがある子どもにも丁寧に指導することができる。</li> </ul>

社会・地図

教科	出版社	選 定 理 由
社会	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「本時の問い」「次につなげよう」などが、ほとんどのページに掲載されている。そうすることで、単元を通して一貫した問いを追究していくことができる。</li> <li>○ 見開きページで問題解決的に学習を進めていくことができる構成になっているため、授業者が、1単位時間の授業に見通しがもてると考えられる。教科書の構成を生かしながら、授業者がひと工夫教材研究をして子どもに発問を投げかけたり資料を提示したりすることで、より充実した学びとなるだろう。</li> <li>○ 「選択・判断」に迫る場面や活動が設けられている。また、学習内容や発達段階に応じて、社会に見られる諸課題が掲載されているため、子どもの考えを深めることが可能となると考えられる。</li> <li>○ 「ひろげる」ページや「次につなげよう」を設けていることから、既習内容を生かしながら発展的な学習に取り組むことができるように工夫されていると考えられる。</li> <li>○ 巻頭には、前学年の振り返りや問題解決的な学習のモデル図、他教科とのつながりなどが示されており、子どもの自主的な探究活動につながるよう工夫されていると考えられる。</li> <li>○ それぞれの学年の巻頭で、前学年の振り返りが設けられている。また、6年生の巻末では、中学校への学びへつながるようなページが設けられている。これらのことから学びの連続性を子どもも授業者も意識することができる。</li> </ul>
地図	帝国書院	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 統計資料が充実している。都道府県別工業生産額の項目を例にすると、他社が工業生産額の総計のみの掲載に対し、当社は鉄鋼、機械、化学、食品ごとに掲載されている。これは調べ学習を行う際、各都道府県の特徴を見出すときに有効に活用できる。</li> <li>○ 子どもが主体的に地図帳を活用できるように、自学自習ができる問い「地図マスターへの道」を設けている。地図活用の技能が身に付くだけでなく、位置や空間的広がりなどの社会的な見方・考え方の育成にもつなげることができる。</li> <li>○ 正しく答えられた問いの数だけ塗りつぶす「地図マスターへの道～まとめのぬりつぶし～」を設けていることで、4年間を通して地図活用の成果を積み上げ、達成感を得ることができる。</li> <li>○ 目次には、地図の種別ごとに記号が付けられ、子どもが探しやすいように工夫されている。</li> </ul>

## 算数・理科

教科	出版社	選 定 理 由
算数	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新学習指導要領で示された「主体的・対話的で深い学びの実現」を目指し、①どんな問題かな、②考えよう、③学び合おう、④ふり返ろう、という問題解決過程を基に、子どもが筋道立てて考え、算数の言葉で伝え合えるように工夫されている。</li> <li>○ 「算数で使いたいことば・考え方」、「どうしていえるかな」を設け、理由や方法など説明させる記述式の問題を扱っているので、子どもものの思考力・判断力・表現力等の育成に役立つ。</li> <li>○ 数学的活動に取り組む「活かす」を重視し、「ハロー算数」や「算数アドベンチャー」で算数のおもしろさを実感できる題材を取り上げているので、統合的・発展的に考える力や姿勢を育むのに適している。</li> <li>○ 本編で練習問題を扱い、巻末「算数マイトライ」に本編と同レベルの補充問題を設けているので、基礎・基本を身に付ける繰り返し学習に適している。</li> <li>○ 第1学年「さんすうのはじまり」では、幼稚園や保育園での経験と関連付け、第6学年「もうすぐ中学生」では、小・中学校間の円滑な接続のために中学校で学習する内容を紹介しているので、幼・保・小・中の連携がスムーズに行いやすい。</li> </ul>
理科	啓林館	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子どもが主役となれるよう、「なぜだろう?」「やってみよう!」を大切にしている教科書となっている。主体的に問題解決を行えるよう、題材を厳選し、学年に応じた深い学びができるよう工夫されている。</li> <li>○ 問題解決の流れがすぐわかるように、矢印やフラッグを用いて、子どもや授業者が見通しをもって進められるようにしている。</li> <li>○ 単元の導入と単元の終末に同じ問いかけを設置し、導入場面で予想したことと、実験や観察を通して分かったこととを比べられるようにしている。</li> <li>○ 理科の有用性を実感することができるように、「理科の広場」で、日常に関連する話題を多く取り扱ったり、理科につながる仕事で活躍する人々からのメッセージを紹介して、キャリア教育にも対応したりしている。</li> <li>○ 「算数のまど」では、算数で学習したことを、理科でどのように活用するのか、振り返りもかねて確認できるようにしている。</li> <li>○ プログラミング教育の入門として、教科書にシートとシールが付いており、それらを貼ったり剥がしたりして、繰り返し思考することができるようになっている。</li> </ul>

## 生活・音楽

教科	出版社	選 定 理 由
生活	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「生活科の学びが見える」「保護者と一緒に開く」「豊富な資料で学びを支える」という三つの特色に基づいて編集されているため、子どもだけでなく、保護者、授業者など、子どもの学びを支える全ての人が生活科の「学び」を共有し、連携できる。</li> <li>○ 自分自身や身近な人々、社会および自然の特徴やよさ、それらの関わり等に気付いている子どもの姿が、挿絵や吹き出し、表現活動などで具体的に示されているため、子どもが思いをもつきっかけになる。</li> <li>○ 見付ける、比べる、たとえる、試す、見通す、工夫するなど、気付いたことをもとに考えるための多様な学習活動例が、写真や挿絵、吹き出し、表現作品などで示されており、授業者が適切な活動を展開する際の参考にすることができる。</li> <li>○ 保護者や地域に向けたメッセージが掲載されているため、学校教育の理念を家庭や地域と共有できるように工夫されている。</li> <li>○ 国語科や算数科、社会科、理科、音楽科、図画工作科、体育科、道徳科、特別活動との関連的な指導のヒントや、関連を図った学習活動例、表現活動例が、豊富に掲載されているのがよい。たとえば社会科との関連では、地域を繰り返し探検する活動や、地図を視覚的に提示することを通して、空間的な認識が広がり、社会的な見方・考え方の基礎につながっていくように工夫されている。</li> </ul>
音楽	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 本学園音楽部では、長年「音楽づくり」を柱として研究してきており、「音楽づくり」が充実している本書と方向性が類似している。第5、6学年の「音楽づくり」の取扱いが、他社が計4題材なのに対し、本書では計8題材である。特に、旋律づくりでは、非和声音を使用する等、高度な内容となっている。また、伴奏づくりの活動についても数多く示されており、楽譜通りに演奏するだけでなく、工夫して演奏する活動の充実が期待される。</li> <li>○ 「さんぽ」「もののけ姫」「君をのせて」「ミッキーマウスマーチ」「ルパン三世のテーマ」「ゴジラ」など、子ども向けの映画やテレビ等で流れる楽曲が多数掲載されており、活動意欲の向上が期待できる。</li> <li>○ 歌詞のイメージがもちやすいよう、折り込みの大型ページで美しい写真が掲載されている。教材に関する図や写真をより分かりやすくするために、透明シートを活用し学習が深まるように工夫されている。</li> <li>○ 九九の曲や英語曲など、他教科との関連が図られた楽曲が掲載されている。</li> </ul>

図画工作・家庭

教科	出版社	選 定 理 由
図画工作	日本文教出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 「面白い」「きれい」「やってみたい」と感じる題材や図版が豊富に掲載されており、子どもの学びの意欲を高めることができる。</li> <li>○ 子どものつぶやきやキャラクターのヒントが充実しており、子どもが、「造形的な見方・考え方」を働かせ、深い学びにつなげることができるような紙面構成になっている。</li> <li>○ ページ右下に、活動を通して感じたり考えたりしてほしいこと（学びに向かう力、人間性等の個人内評価）が子どもの言葉で掲載されている。これは、図画工作科で育みたい資質・能力にもつながるものであり、生活の中の美について、子どもが意識することができる。</li> <li>○ 「ひらめきポケット」「図画工作のつながりひろがり」「使ってみよう材料と用具」など、様々な活動や作品、身近なものの美、用具の使い方について、詳しく掲載されており、子どもの見方や感じ方を広げるのに効果的である。</li> </ul>
家庭	東京書籍	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 新学習指導要領で示された家庭科の見方・考え方を「家庭科の窓」として設定し、巻頭ではわかりやすい言葉に置き換えて子どもに投げかけている。また、全ての大題材のタイトル横にその視点が示されており、子どもが意識し続けることができる。</li> <li>○ 全ての題材において、課題発見→課題解決・実践活動→評価・改善の3段階で構成され、問題解決的な思考を身に付けることができるように工夫されている。このことが、教科書上でも、ステップ1・2・3のアイコンとして位置付けられており、子ども自身も学習過程を把握しやすくなっている。</li> <li>○ 新学習指導要領で新設された内容“生活の課題と実践”を「生活を変えるチャンス！」として5か所設定している。また、その中で「家庭科の窓」として4つの視点（見方・考え方）を強調している。子どもが生活の中から課題を見付け、身に付けた知識や技能を実際の生活につなげることができるように工夫されている。</li> <li>○ A4判を用いており、教科書サイズが現行のモデルより大きくなったため、「日本の伝統」のコーナーや「プロに聞く！」のコーナーなどコラムも豊富で子どもの興味関心を高められる。また、実習を見開きにまとめていたり、包丁の扱い方が原寸大の写真で載っていたりと分かりやすい。</li> </ul>

## 保健・外国語

教科	出版社	選 定 理 由
保健	文教社	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 身近な生活行動・生活環境の中から学習課題を見付け、追究、解決できる構成になっており、まとめのページがそれぞれの中で配置されているため、知識及び技能が定着できる。</li> <li>○ 学習内容に応じて「考えてみよう」「やってみよう」が配置されていたり、自分の考えを書き込む欄が多かったりするため、具体的な活動を通して子どもが思考・判断・表現することができる。</li> <li>○ 「レベルアップ」「達人からのメッセージ」「もっと♪ヘルシー♪いい話♪」など、多様なコラムが掲載され、学んだ内容が、実生活につながるよう工夫されている。</li> <li>○ アスリートからのメッセージを記載したり、喫煙や飲酒による体への影響を視覚的に訴える資料を掲載したりしているため、読みやすく分かりやすい。</li> <li>○ 5・6年の「けがの防止」では、発展的な学習として「災害が起きた時どうする？」などのページが掲載され、他教科との関連を図りやすい。</li> </ul>
外国語	教育出版	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 他社の教科書と比べて、日本語での活動の指示が抑えられている。そのため、子どもの実態や授業者のねらいに合わせて活動の際に使用する英語の量や表現を工夫できる余地が多い。</li> <li>○ 学習の見通しをもち、意欲的に取り組める活動を多く設定するとともに、気付き、考えを深める場面が随所に盛り込まれているため、子どもの「楽しい」「やってみたい」という意欲を喚起できる。</li> <li>○ Let's Listenで聞いたり話したりする活動に取り組み、Activityで話したり書いたりする自己表現活動に繰り返し取り組めるように工夫されているため、知識及び技能をバランスよく定着できる。</li> <li>○ 端的な目標が提示され、必然性のある活動と振り返りが設定されている。</li> <li>○ 題材が学校や地域、国内、海外へと学年や単元が進むにつれて徐々に子どもの視点が広がっていくように構成され、子どもの発達段階に即した構成となっている点が良い。</li> <li>○ 第6学年「知らない言葉を調べてみよう」の中で辞書の使い方を扱っている。自己表現のために参照するページとして有効であり、主体的に学ぶ子どもの支援につながる。</li> </ul>

道徳

教科	出版社	選 定 理 由
道徳	学研教育みらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 子ども自ら主体的に課題を発見し、解決する資質や能力を培うことを重視している。主題名が教材冒頭に記載されていないため、特定の価値観を押し付けることなく、子どもの問題意識を大切にした展開になるように工夫されている。</li> <li>○ A4の大きな判型を採用し、挿絵や写真、図版などを大きく、数多く掲載することで、子どもの感性に訴え、学習意欲を高めることができるように工夫されている。</li> <li>○ 物事を多面的・多角的に考えるために、問題解決的な学習や体験的な学習活動が掲示された「学び方のページ&lt;深めよう&gt;&lt;やってみよう&gt;」が設けられており、多様な授業づくりに生かすことができる。</li> <li>○ 教科書に付属したノートがなく、授業者のねらいに応じた教科書の活用をすることができる。</li> </ul>